*本剤の効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報については、
製品電子添文をご参照ください。

キュビシン® 静注用350mgの溶解法

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

14.3 薬剤投与時の注意：小児には、年齢に応じて30分又は60分かけて点滴静注し、静脈内注射しないこと。
14.4 配合適性：1)本剤は生理食塩液及び乳酸リンゲル液とは配合可能である。
2)ブドウ糖を含む希釈液とは配合不適である。
3)配合適性については限られたデータしかないため、他の薬剤を同一の輸液ラインを通して同時に注入しないこと。他の薬剤を同一の輸液ラインから連続注入する場合には、配合変化を起こさない輸液(生理食塩液又は乳酸リンゲル液)を本剤の投与前後に輸液ライン内に流すこと。
貯　　法：2～8℃

※コアリング防止のために、常温に戻してから溶解を行ってください。

1 バイアルに針を挿入

7mLの生理食塩液をシリンジに取り、バイアルのゴム栓の中央部に垂直に針を刺す。

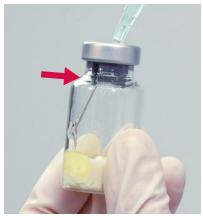
【注意】21ゲージもしくはそれより細い径の針を用いて調製してください。斜めに針を挿入するとゴム栓の一部が破損し混入(コアリング)するおそれがあります。必ずまっすぐに針を挿入してください。

2 バイアルに生理食塩液7mL注入

生理食塩液7mLをバイアルの内壁をつたわらせながらゆっくりと注入する。

*ゴム栓に溝(矢印部)があるので、無理なく針を内壁につたわらせることができます。
*本剤は7mLの生理食塩液を加えて溶解することで、50mg/mLの溶解液となります。

【注意】内壁をつたわらせず薬剤の上に直接注入すると、泡立ちや溶け残りの原因となります。



3 バイアルをゆっくり回し薬剤を溶解させ、溶解するまで約10分間静置する

バイアルをゆっくりと回しながら塊又は粉末を十分に湿らせる。

【注意】この際に、激しく振とうしないでください。泡立ちの原因となります。本剤が完全に溶解するまでに約10分間必要です。静置期間を短縮して使用しないように注意してください。

4 静置後再度ゆっくりとバイアルを回す

数分間再度ゆっくりとバイアルを回す。

【注意】溶け具合を確認しながらゆっくりと回してください。
その際 3 と同じく、激しく振とうしないようにしてください。

5 完全に溶解したことを確認する

目視にて薬剤が完全に溶解したこと(溶け残りが無いか)を確認する。

【注意】不溶物の残留が無いか、泡立ちが起こっていないかを必ず確認してください。

6 溶解した本剤をシリンジに採取する

針をバイアルのゴム栓の中央部に垂直に挿入し、溶解した本剤をシリンジに採取する。

【注意】この際も 1 の時のように、コアリングに注意して、ゴム栓の中央部にまっすぐに針を挿入してください。

7

1. 30分又は60分かけて点滴静注する場合
6 で採取した溶液をさらに生理食塩液で希釈し使用する。

2. 緩徐に静脈内注射する場合
6 で採取した溶液をそのまま使用する。

溶解後は速やかに使用すること。やむを得ず保存を必要とする場合でも、溶解開始後、室温(25℃)では12時間以内、冷所(2～8℃)では48時間以内に使用すること。

キュビシン® 成人における投与量体重別換算表

敗血症、感染性心内膜炎
成人18歳以上／用量6mg/kg／30分点滴静注／静脈内注射

体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*		体重(kg)	必要溶液量(mL)*	
30	3.6	54	6.5		78	1V+	2.4
31	3.7	55	6.6		79	1V+	2.5
32	3.8	56	6.7		80	1V+	2.6
33	4.0	57	6.8		81	1V+	2.7
34	4.1	58	7.0		82	1V+	2.8
35	4.2	59	1V+	0.1	83	1V+	3.0
36	4.3	60	1V+	0.2	84	1V+	3.1
37	4.4	61	1V+	0.3	85	1V+	3.2
38	4.6	62	1V+	0.4	86	1V+	3.3
39	4.7	63	1V+	0.6	87	1V+	3.4
40	4.8	64	1V+	0.7	88	1V+	3.6
41	4.9	65	1V+	0.8	89	1V+	3.7
42	5.0	66	1V+	0.9	90	1V+	3.8
43	5.2	67	1V+	1.0	91	1V+	3.9
44	5.3	68	1V+	1.2	92	1V+	4.0
45	5.4	69	1V+	1.3	93	1V+	4.2
46	5.5	70	1V+	1.4	94	1V+	4.3
47	5.6	71	1V+	1.5	95	1V+	4.4
48	5.8	72	1V+	1.6	96	1V+	4.5
49	5.9	73	1V+	1.8	97	1V+	4.6
50	6.0	74	1V+	1.9	98	1V+	4.8
51	6.1	75	1V+	2.0	99	1V+	4.9
52	6.2	76	1V+	2.1	100	1V+	5.0
53	6.4	77	1V+	2.2			

深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染
成人18歳以上／用量4mg/kg／30分点滴静注／静脈内注射

体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*	
30	2.4	54	4.3	78	6.2	
31	2.5	55	4.4	79	6.3	
32	2.6	56	4.5	80	6.4	
33	2.6	57	4.6	81	6.5	
34	2.7	58	4.6	82	6.6	
35	2.8	59	4.7	83	6.6	
36	2.9	60	4.8	84	6.7	
37	3.0	61	4.9	85	6.8	
38	3.0	62	5.0	86	6.9	
39	3.1	63	5.0	87	7.0	
40	3.2	64	5.1	88	1V+	0.0
41	3.3	65	5.2	89	1V+	0.1
42	3.4	66	5.3	90	1V+	0.2
43	3.4	67	5.4	91	1V+	0.3
44	3.5	68	5.4	92	1V+	0.4
45	3.6	69	5.5	93	1V+	0.4
46	3.7	70	5.6	94	1V+	0.5
47	3.8	71	5.7	95	1V+	0.6
48	3.8	72	5.8	96	1V+	0.7
49	3.9	73	5.8	97	1V+	0.8
50	4.0	74	5.9	98	1V+	0.8
51	4.1	75	6.0	99	1V+	0.9
52	4.2	76	6.1	100	1V+	1.0
53	4.2	77	6.2			

注：V=バイアルを示す。(1V：1バイアル)
*バイアルよりの抜き取り量

【6. 用法及び用量】〈成人〉
敗血症、感染性心内膜炎
通常、成人にはダプトマイシンとして1日1回6mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注又は緩徐に静脈内注射する。
深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染
通常、成人にはダプトマイシンとして1日1回4mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注又は緩徐に静脈内注射する。

キュビシン® 小児における投与量体重別換算表

敗血症

1歳以上7歳未満			7歳以上12歳未満			12歳以上18歳未満		
用量12mg/kg			用量9mg/kg			用量7mg/kg		
60分点滴静注			30分点滴静注			30分点滴静注		
体重(kg)	必要溶液量(mL)*		体重(kg)	必要溶液量(mL)*		体重(kg)	必要溶液量(mL)*	
5		1.2	16		2.9	32		4.5
6		1.4	18		3.2	34		4.8
7		1.7	20		3.6	36		5.0
8		1.9	22		4.0	38		5.3
9		2.2	24		4.3	40		5.6
10		2.4	26		4.7	42		5.9
11		2.6	28		5.0	44		6.2
12		2.9	30		5.4	46		6.4
13		3.1	32		5.8	48		6.7
14		3.4	34		6.1	50	1V+	0.0
15		3.6	36		6.5	52	1V+	0.3
16		3.8	38		6.8	54	1V+	0.6
17		4.1	40	1V+	0.2	56	1V+	0.8
18		4.3	42	1V+	0.6	58	1V+	1.1
19		4.6	44	1V+	0.9	60	1V+	1.4
20		4.8	46	1V+	1.3	62	1V+	1.7
21		5.0	48	1V+	1.6	64	1V+	2.0
22		5.3	50	1V+	2.0	66	1V+	2.2
23		5.5	52	1V+	2.4	68	1V+	2.5
24		5.8	54	1V+	2.7	70	1V+	2.8
25		6.0	56	1V+	3.1	72	1V+	3.1
26		6.2	58	1V+	3.4	74	1V+	3.4
27		6.5	60	1V+	3.8	76	1V+	3.6
28		6.7	62	1V+	4.2	78	1V+	3.9
29	1V+	0.0						
30	1V+	0.2						

深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

1歳以上2歳未満			2歳以上7歳未満			7歳以上12歳未満			12歳以上18歳未満		
用量10mg/kg			用量9mg/kg			用量7mg/kg			用量5mg/kg		
60分点滴静注			60分点滴静注			30分点滴静注			30分点滴静注		
体重(kg)	必要溶液量(mL)*		体重(kg)	必要溶液量(mL)*		体重(kg)	必要溶液量(mL)*		体重(kg)	必要溶液量(mL)*	
5		1.0	4		0.7	16		2.2	32		3.2
6		1.2	6		1.1	18		2.5	34		3.4
7		1.4	8		1.4	20		2.8	36		3.6
8		1.6	10		1.8	22		3.1	38		3.8
9		1.8	12		2.2	24		3.4	40		4.0
10		2.0	14		2.5	26		3.6	42		4.2
11		2.2	16		2.9	28		3.9	44		4.4
12		2.4	18		3.2	30		4.2	46		4.6
13		2.6	20		3.6	32		4.5	48		4.8
14		2.8	22		4.0	34		4.8	50		5.0
15		3.0	24		4.3	36		5.0	52		5.2
			26		4.7	38		5.3	54		5.4
			28		5.0	40		5.6	56		5.6
			30		5.4	42		5.9	58		5.8
			32		5.8	44		6.2	60		6.0
			34		6.1	46		6.4	62		6.2
			36		6.5	48		6.7	64		6.4
			38		6.8	50	1V+	0.0	66		6.6
			40	1V+	0.2	52	1V+	0.3	68		6.8
			42	1V+	0.6	54	1V+	0.6	70	1V+	0.0
						56	1V+	0.8	72	1V+	0.2
						58	1V+	1.1	74	1V+	0.4
						60	1V+	1.4	76	1V+	0.6
						62	1V+	1.7	78	1V+	0.8

注：V=バイアルを示す。（1V：1バイアル）

*バイアルよりの抜き取り量

【6. 用法及び用量】〈小児〉

敗血症

通常、ダプトマイシンとして以下の用法及び用量に従い投与する。

年齢	用法及び用量
12歳以上18歳未満	1日1回7mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注
7歳以上12歳未満	1日1回9mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注
1歳以上7歳未満	1日1回12mg/kgを24時間ごとに60分かけて点滴静注

深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

通常、ダプトマイシンとして以下の用法及び用量に従い投与する。

年齢	用法及び用量
12歳以上18歳未満	1日1回5mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注
7歳以上12歳未満	1日1回7mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注
2歳以上7歳未満	1日1回9mg/kgを24時間ごとに60分かけて点滴静注
1歳以上2歳未満	1日1回10mg/kgを24時間ごとに60分かけて点滴静注

MSD

製造販売元［文献請求先及び問い合わせ先］

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア

http://www.msd.co.jp/

【MSDカスタマーサポートセンター】

医療関係者の方：フリーダイヤル 0120-024-961

<受付時間> 9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）

2025年5月作成

DAP25PH0002